

(財)松竹大谷図書館ニューズレター

Shochiku Otani Library

No.154(2011年1月)

新年 おめでとうございます

昨年は4月いっぱい歌舞伎座が建て直しのため休場となりました。当館は歌舞伎座1Fのロビーで使用されていた年代物の小さなショーケースを譲り受け、7月から閲覧室内で所蔵資料の展示を開始しました。40万点を越える資料の中から少しずつでもテーマに沿って紹介できるのは嬉しいことです。

また、昨年秋から玉川大学教育博物館と共催で、鈴木三郎助氏寄贈のおもちゃ絵の展示会を開催しております(1月28日まで)。現物の展示のほか、組上燈籠の複製を組上げたものや、歌舞伎の大道具の写真、戦前の歌舞伎俳優の扮装写真を交えて、多彩な展示となっております。

さらに、年末には銀座和光と日本橋高島屋で歌舞伎座に関する展示会があり、当館の資料も多数出品いたしました。

請求に応じて閲覧室で資料をご覧頂くばかりでなく、図書館側からも積極的に資料を紹介していくことを、演劇・映画の専門図書館として今後も行っていきたいと思っております。

本年も松竹大谷図書館をどうぞよろしく願い申し上げます。

松竹大谷図書館 スタッフ一同



お知らせ

平成22年度第39回大谷竹次郎賞は、該当作品なしと決定いたしました。

大谷竹次郎賞は、その年の1月から12月に各劇場の公演において歌舞伎俳優によって演じられた新作歌舞伎および新作歌舞伎舞踊の脚本のなかで優れた作品に贈られる賞です。

訃報

平成23年1月3日、歌舞伎俳優で人間国宝の5世中村富十郎丈が逝去されました。81歳でした。

中村富十郎丈には平成7年4月より当館の評議員を勤めていただいております。お忙しい舞台出演の合間にも会議にご出席下さいました。また、ご自身で来館され、調べ物をされることも度々あり、当館のスタッフにも親しく接して下さいました。昨年11月の舞台でのお元気な姿を拝見しておりましたので、急な訃報に驚くばかりです。

中村富十郎丈から賜りました当館へのご理解とご協力に深く感謝申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

財団法人 松竹大谷図書館

新着資料案内

新しく受入れた資料をご案内いたします！

松竹系 12月公演資料

..... 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	清 & 直美 『気になる二人 持ちつ持たれつ』		○	○	○
	笑福亭松喬還暦落語会			○	○
	舟木一夫シアターコンサートin新橋演舞場			○	
日生劇場	『通し狂言 摂州合邦辻』	○	○	○	○
	『達陀』	○	○		
南座(京都)	『羽衣』			○	○
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○			
	『阿国歌舞伎夢華』	○			
	『伊賀越道中双六 沼津』	○			
	『歌舞伎十八番の内 外郎売』	○			
	『仮名手本忠臣蔵 七段目』	○			
	『心中天網島 玩辞楼十二曲の内 河庄』	○			
	『鳥辺山心中』	○			
	『越後獅子』				
西本智実in南座ジルバスターコンサート大晦日大演奏会				○	
松竹座(大阪)	関西ジャニーズJr. X コンサート2010				
御園座	『取り立てやお春』	○		○	○
金沢歌劇座	『棒しばり』			○	
	『仇ゆめ』				

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

他社公演資料

赤坂RED/THEATER	11月	『令嬢ジュリー』プログラム
大阪新歌舞伎座	11月	『北島三郎特別公演』プログラム
吉祥寺シアター	11月	『"P"s Wings to fly』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	11月	『くにこ』プログラム
紀伊國屋ホール	12月	『新浄瑠璃 朝右衛門』プログラム
国立劇場小劇場	11月	『舞の会 京阪の座敷舞』プログラム
	12月	『日本雅楽會第49回 雅楽公演』プログラム
		『第一七三回 文楽公演』プログラム、床本
		『第四二回文楽鑑賞教室』プログラム
国立劇場大劇場	12月	『仮名手本忠臣蔵 五幕』プログラム、台本
国立文楽劇場	12月	『師走浪曲名人会』プログラム
サンシャイン劇場	11月	『サンタクロースが歌ってくれた』プログラム
座・高円寺1	11月	『トナカイを数えたら眠れない』プログラム
	12月	『烏賊ホテル』プログラム
シアタークリエ	12月	『プライド』プログラム
シアタートラム	11月	『現代能楽集V』プログラム
渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール	11月	『渋谷金丸伝説』プログラム
新国立劇場小劇場	11月	『リーディング公演 T.ウィリアムズ一幕劇から』プログラム
	12月	『最後の一枚の絵』プログラム
自由劇場(四季)	11月	『探偵スルース』プログラム
世田谷パブリックシアター	11月	『K2』プログラム、台本
	12月	『春琴 谷崎潤一郎『春琴抄』『陰翳礼讃』より』プログラム
セルリアンタワー能楽堂	12月	『市川段治郎名作語りその二 太宰治 お伽草紙』プログラム

(新規登録資料案内 他社公演資料 続き)

中日劇場	11月	『マイ・フェア・レディ』プログラム
帝国劇場	11月	『ミュージカル モーツァルト!』プログラム
東京芸術劇場小ホール2	11月	『この雨ふりやむとき』プログラム、台本
東京芸術劇場中ホール	12月	『ホーム はじめてテレビがきた日』プログラム
東京文化会館	11月	『オーケストラが奏でる歌舞伎の舞』プログラム
中野ザ・ポケット	11月	『男の一生』プログラム
俳優座劇場	11月	『真砂女』プログラム、台本
博多座	12月	『博多座文楽公演』プログラム、床本
博品館劇場	11月	『夜想曲(ノクターン)...GOLD』プログラム
		『ドラキュラ』プログラム
本多劇場	11月	『母を逃がす』プログラム
三越劇場(日本橋)	12月	『十二月 下宿屋「四丁目ハウス」』プログラム、台本
明治座	12月	『細川たかし・香西かおり特別公演』プログラム、台本

書 籍

『ファミ フェム』		二見書房
『舞台裏のスターたち 舞台創りのクリエイター20人』	小藤田千栄子(著)	同文書院
『プレヒト演劇入門』	千田是也+岩淵達治(編)	白水社
『プレヒトの写針詩』	[ベルトルト・プレヒト(著)]	みすず書房
『池波正太郎が書いたもうひとつの「鬼平」「剣客」「梅安」』	池波正太郎(著)	武田ランダムハウスジャパン
『演劇・映画図書総目録2010』		演劇図書総目録刊行会
『田邊尚雄・秀雄旧蔵 楽器コレクション図録』		京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
『歌舞伎音楽演奏家名鑑 昭和二十年から現代まで』		伝統歌舞伎保存会
『歌舞伎序説』	守随憲治(著)	改造社
『曠野と演劇』	上田美佐子(著)	港の人
『人間国宝 尾上多賀之丞の日記 ビタと呼ばれて』	大槻茂(著)	青草書房
『能の地拍子研究文献目録』	藤田隆則(編著)	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
『はやく上達する長唄のうたひ方と弾き方』	町田嘉章(著)	教文館
『北條秀司の舞台』		東海大学附属図書館
『東宝75年のあゆみ ビジュアルで綴る3/4世紀 1932-2007』		東宝

映 画 資 料

..... 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『ウルトラマンゼロ THE MOVIE 超決戦!ベリアル銀河帝国』					

映 画 プ ロ グ ラ ム

『シネマ落語 落語研究会 昭和の名人』	『バーレスク』	『シュレック フォーエバー』
『きみがくれた未来』	『ノルウェイの森』	『ロビン・フッド』
『GAMER』	『キス&キル』	『アメリカ 永遠の翼』
『ゴダール・ソシアリズム』	『劇場版イナズマイレブン 最強軍団オーガ襲来』	
『SPACE BATTLESHIP ヤマト』	『劇場版 BLEACH ブリーチ 地獄篇』	
『チェブラーシカ/くまのがっこう ~ジャッキーとケイティ~』		

演 劇 雑 誌

- 『あぜくら』平成22年12月号
『舞踊芸術』2010年12月号
『Confetti』2011年JANUARY Vol.73
『伝統文化新聞』2010年(55号)
『悲劇喜劇』2011年1月号〔《特集》最近の舞台から 《掲載戯曲》『わが町』ソートン・ワイルダー〕
『邦楽と舞踊』2011年1月号
〔《特集》清元宗家 七世家元 清元延寿太夫 その名跡とともに 清元二派による八十八年ぶりの共演を成し遂げて〕
『邦楽と舞踊』邦楽・舞踊家手帖平成23年度版(1月号別冊付録)
『邦楽の友』平成23年1月号
『ほうおう』2011年2月号〔《インタビュー》中村福助/新派四季暦 市川段治郎に聞く〕
『館報池田文庫』2010年12月(37号)
〔《インタビュー》父 桂米朝を語る 桂米團治 《特集》[講演会報告]中川芳三/[整理の現場から]内海重典氏収集資料の寄贈を受けて 田畑きよ子〕
『ジ・アトレ』2010年10~12月
『歌舞伎美人だより』2011年1月号
『神奈川芸術プレス』2010年11月Vol.97
『国立演芸場公演ガイド』平成23年1月号
『メセナnote』2010年67号〔《特集》メセナアワード2010〕
『メセナnote』2010年特別号メセナリポート2010(80号)
『ミュージカル』2010年12月号〔《特集》『アンナ・カレーニナ』〕
『名古屋芸能文化』平成22年(20号)
〔《特集》世襲面打家当主の生没年の検討 保田紹雲/正絃社四十五周年を迎えて~創立秘聞を今に伝える~野村祐子/[翻刻]豊嶋十郎筆『高安流仕舞附人』(七)飯塚恵理人〕
『News Letter』2010年11月9号
『日本芸術文化振興会ニュース』平成23年1月号
『日本照明家協会雑誌』2010年12月号
〔《インタビュー》廣中信行さんに聞く 《特集》ワールド・ライティング・フェア 2010/平成22年度 支部長・事務局長会議 議事録/女性テレビ照明家による座談会(後編)〕
『日本舞踊』63巻1月号
〔《特集》秘曲・名曲サロン 長唄 初咲法楽舞/舞踊写真教室 新内 初日の松(1)〕
『日本演劇興行協会会報』2010年(39号)
『大向う』平成22年12月号、平成23年1月号
『SePT倶楽部 information』2010年11・12月号
『シェイクスピア通信』2010年No.23
『シアターガイド』2011年2月号
〔《特集》焰立つ三島文学の世界「金閣寺」森田剛 高岡蒼甫×大東俊介 宮本亜門ほか/「時計じかけのオレンジ」小栗旬 河原雅彦×内橋和久ほか/「ろくでなし啄木」藤原竜也×中村勘太郎〕
『SPT』2010年NOVEMBER 7号〔《特集》古典のアップデート 翻案・脚色・置換の方法論〕
『テアトロ』2011年1月号
〔《特集》戦後日本演劇を変えた演劇人II 女優編 《掲載戯曲》「悲哀の路地」森井睦/「喜劇 ファッションショー」木庭久美子〕
『東京芸術劇場アミューズメントカレンダー』2011年1月-2月-3月号

映 画 雑 誌

- 『文化通信ジャーナル』2010年12月号
〔《インタビュー》塚越隆行 ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン ゼネラルマネージャー 《特集》BSデジタル放送開局10周年〕
- 『ドラマ』2011年1月号
〔《特集》コンクール第22回フジテレビヤングシナリオ大賞受賞作発表 受賞4編一挙掲載 《掲載シナリオ》「東京Voice」原田裕文〕
- 『映画テレビ技術』2011年1月号
〔《特集》2010年 映画テレビ技術の動向~Inter BEE 2010を終えて/2010年 第47回 民放技術報告会から/『THE LAST MESSAGE 海猿』CG・VFX制作〕
- 『映画時報』2010年12月号
〔《インタビュー》島谷能成東宝専務取締役 《特集》第55回「映画の日」中央式典/パラマウント、2011年ラインナップ/東映中間決算〕
- 『映画秘宝』2011年2月号
〔《特集》映画秘宝オールジャンルランキング! / 『ソーシャル・ネットワーク』徹底解剖!〕
- 『衛星劇場プログラムガイド』2010年12月号、2011年1月号
- 『FLIX』2011年2月号
〔《特集》向井理/『相棒-劇場版II-』特集第2弾 及川光博×神保悟志 岸部一徳 和泉聖治監督〕
- 『歌舞伎チャンネル友の会』2011年1月
- 『キネマ旬報』2011年1月上旬号
〔《特集》「相棒-劇場版II- 警視庁占拠! 特命係の一番長い夜」/映画賢者8人に訊く2010年下半期この映画を見逃すな! /黒澤映画から受け継ぐ 野上照代/「アンストッパブル」/「ゴダール・ソシアリスム」〕
- 『キネマ旬報』2011年1月下旬号
〔《特集》「僕と妻の1778の物語」/映画賞レース激走中「ソーシャル・ネットワーク」とは? /監督主義プロジェクト&「ウッドストックがやってくる!」/小栗旬×ヤン・イクチュン「映画」を語る〕
- 『NFCニューズレター』2010年12月-2011年1月号〔《特集》生誕百年 映画監督 黒澤明〕
- 『NFCカレンダー』2011年1月-2月号
- 『日経エンタテインメント!』2011年1月号
〔《特集》映画・テレビ・CM・音楽・アニメ・本・ゲーム 2010 ヒット総まくり/女優・男優100人 お仕事採点表/47都道府県別ブレイク図鑑/初主演&初1位・新人気者図鑑〕
- 『ぴあ』2011年1/6号
- 『ピクトアップ』2011年2月号
〔《特集》『GANTZ』それぞれが背負った 役割 二宮和也 松山ケンイチ/草彅剛/竹内結子〕
- 『SCREEN』2011年2月号
〔《特集》もっと知りたい! オードリー・ヘプバーンの生き方/2011年のBIGスターinBIGムービー/注目度120%のフレッシュ・スターたち〕
- 『シナリオ』2011年2月号
〔《掲載シナリオ》『最後の忠臣蔵』田中陽造/『パートナーズ』荒井晴彦 井上淳一〕
- 『シナリオ教室』2011年1月号
〔《掲載シナリオ》第19回「シナリオS1グランプリ」受賞作: グランプリ『でらしね』宮本貴透/佳作『コールサイン』梶原幸 《特集》第19回「シナリオS1グランプリ」最終審査結果発表〕
- 『シネ・フロント』2010年12月号
〔《特集》「ミツバチの羽音と地球の回転」/ケン・ローチ「エリックを探して」/ジュセッペ・トルナトーレ「シチリア!シチリア!」〕
- 『シネフェックス』2011年January No.19
〔《特集》インセプション/プリンス・オブ・ペルシャ 時間の砂/エアベンダー〕
- 『松竹(社報)』2010年(160号)
- 『特ラ連レポート』平成22年11月117号

玉川大学教育博物館「鈴木コレクション おもちゃ絵の世界」展報告

昨年12月10日から始まった『鈴木コレクション おもちゃ絵の世界』期では、松竹大谷図書館に寄贈された歌舞伎の舞台取材した組上燈籠84点が出品されています。その殆どを複製で実際に組上げ、原資料と同時に見る事ができるように展示されており、場内は前期にもまして華やかです。錦絵4枚分や6枚分で1つの場面を組上げる大きな作品は勿論、1枚で1場面、または1枚で6場面組上げる小ぶりなものも、立体にしてみると思いのほか見応えがあります。当館でも『金閣寺』はじめ6基を組上げましたが、これだけの数を作り上げて下さった玉川大学の皆様のご尽力には感謝するばかりです。出来上がった組上燈籠の舞台をより楽しんでいただけるように、一つ一つに歌舞伎の演目解説を付け、描かれている人物、場面に相応する実際の舞台写真や台本なども展示いたしました。単に玩具としてのおもちゃ絵でなく、物語や歌舞伎の一場面を再現する楽しみを持つものであった事をご理解いただけたかと思えます。



額入りの原資料の手に組み立てられた複製が展示されています

12月12日には、浮世絵の研究者で玉川大学非常勤講師の藤澤紫氏による講演「浮世絵と歌舞伎組上燈籠を中心に」がありました。講演会の後には、展示会場にて実際の展示を前にしての解説も行われ、参加者も熱心に見入っていました。

1月28日まで玉川大学教育博物館で開催されています。

松竹大谷図書館 所蔵資料展示 第8回「歌舞伎座」関連資料

於：松竹大谷図書館閲覧室

1月は、映画『わが心の歌舞伎座』公開にちなみ、歌舞伎座さよなら公演及び閉場式に関連した資料を展示いたします。平成21年1月2日、歌舞伎座さよなら公演の初日に先駆け、古式顔寄せ手打式が行われました。「顔寄せ手打式」とは興行の様々な取決めが定まったしるしとして、関係者が揃って手を締める古くからの行事です。この日歌舞伎座の舞台には俳優・スタッフ・関係者ら総勢200名が並び、手打の音が歌舞伎座中に響きわたりました。そして平成22年4月28日、1年4ヶ月に渡るさよなら公演も幕を閉じ、30日には閉場式が行われ、歌舞伎座の外でも驚くほど多くの方が、その最後の公演を見守っていました。現在、歌舞伎座は姿を消しましたが、様々な思い出となって人々の心の中に物語を作り続けています。

「歌舞伎座」関連資料一覧

1. 歌舞伎座さよなら公演 手拭
2. 「ほうおう」2009年3月号 歌舞伎座さよなら公演古式顔寄せ手打式 記事
3. 歌舞伎座さよなら公演古式顔寄せ手打式 チケット・チケット袋(平成21年(2009)1月2日歌舞伎座)
4. 歌舞伎座閉場式 チケット袋(外側・内面) (平成22年(2010)4月30日歌舞伎座)
5. 歌舞伎座 舞台檜板 実際に歌舞伎座で使用していた舞台板を裁断したもの
6. 「匠の技 歌舞伎座をつくる」2号(2010年10月28日号) 歌舞伎座閉場式 記事
7. 平成二十一年歌舞伎座さよなら公演寿初春大歌舞伎狂言名題 (平成21年(2009)1月2日歌舞伎座) 古式顔寄せ手打式で河竹登志夫氏が舞台上で実際に読上げたもの
8. 歌舞伎座閉場式 プログラム (平成22年(2010)4月30日歌舞伎座)
9. 展示ショーケース 歌舞伎座1階ロビーで実際に使用していたもの



歌舞伎座 舞台檜板

財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 A D K松竹スクエア3階

03-5550-1694

<http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>